



MB&F および芸術家セージ・ヴォーンはオンリーウォッチで強いメッセージを発表

MB&F (マキシミリアン・ブッサー&フレンズ) が発表した最新の時計のムーブメントには蝶が捕われている。その複雑なムーブメントには有刺鉄線が絡みつき、蝶が逃げ出せる望みはない。この強い感情があふれる比類ない演出の MB&F オロロジカル・マシン No.2 には、アメリカ人芸術家のセージ・ヴォーンサインがされており、オンリーウォッチオークションに出品される。このチャリティーオークションは、デュシエンヌ型筋ジストロフィーの研究を支援するためのもので、モナコ公国アルベール 2 世公の後援により 2009 年 9 月 24 日にモナコで開催される。

オークションは1年おきに開催され、スイスの最高のオート・オルロジェリ (高級複雑時計製造) 職人が一堂に会し、それぞれが1つしか存在しない時計、または限定シリーズのNo.1 を出品し、最低競売価格なしでオークションにかけられる。オンリーウォッチでのすべての収益金は、病気の国際医学研究プロジェクトを支援するため、デュシエンヌ型筋ジストロフィー・モナコ協会 (AMM) に贈られる。同協会は2005年より、この分野に積極的に関わっている。

筋ジストロフィー¹から子供を救うための戦いへの参加

デュシエンヌ型筋ジストロフィー (DMD) は、男児3,500人あたり1人の割合で発症する深刻な遺伝病である。筋肉が弱くなる進行性の病気で、呼吸器や心臓に問題を引き起こし、子どもの成長につれて致命的になるという特徴がある。ヨーロッパでは約30,000人が、この病気に苦しんでいる。

治療法はまだ確立していないものの、かなり進歩しています。最も重要な躍進はSaut d'Exon (エクソスキッピング) の開発で、これは細胞機構が遺伝子の病気の原因となる異常を引き起こす部分を読み取るのを「忘れる」ようにする外科的治療法である。この技術は、フランス国立科学研究機構 (CNRS) における研究の責任者、レイ・ガルシアのチームによって開発された。ガルシア氏はDMD研究の分野における中心的人物で、彼とそのチームを含め、20の研究チームがAMMからの財政支援を受けている。

MB&Fのクリエイションにおける幼少時代の役割

マキシミリアン・ブッサーは、ルック・ベタヴィーノ AMM 会長と話した瞬間に、オークションへの参加を決めた。「私の年齢 (42歳) ならば、重病にかかっても既に人生を全うしたと言えますが、人生を始めたばかりの子供にとっては、悲劇なのです。」

ブッサーは、この病気の子供の苦しみを理解できるなどとは主張しないが、幼少時代は彼にとって特別に重要な意味がある。彼が考え出し製作する時計は、フレンズと一緒に高度な知識を結集し、愛情を込めて丹念に作られるが、そのルーツは彼の幼少時代にあるのだ。

オロロジカル・マシンNo.2は、時計製作の歴史で最も複雑なものだが、そのモジュール構造は、彼のおもちゃだったメカーノのモデルキットから着想したものである。一流の伝統時計のムーブメントのため、22Kゴールド製自動巻きローターには宝石のような手仕上げが施されており、その象徴的な鎌形は、彼の子供時代のアニメヒーロー「グレンダイザー」が操る

¹ オンリーウォッチのウェブサイトから情報を入手できます。

ダブルヘッドのバトルアックスが元になっている。また、「スター・トレック」、「サンダーバード」、「ドクター・フー」や「スター・ウォーズ」など、優れたSFテレビシリーズもすべてMB&Fの創作に役割を果たした。それは空想の世界の魅力と最高級時計製作への愛情との間の緊張状態であり、その純粋な極みがマシンに生命を吹き込んでいる。

時計に対するインスピレーション

マキシミアン・ブッサーと彼のチームは、「衝撃」を受け、オンリーウォッチイベントのために1つの時計を創造し、時計を通じてその感情を伝えるべきであると決断したという。しかし時計製作にはその限界がある。幼少時代の美しさや傷つきやすさ、そして12歳になる前に車椅子生活になる子どもの勇敢な戦いを、時計製作でどう表現できるのだろうか？

人生において偶然の出会いなどないが、その頃、ジュネーブの新しいギャラリーではセージ・ヴォーンの個展が開かれていた。ヴォーンはアメリカ人の画家で、元グラフィティ・アーティスト。昨年夏のニューヨークでの個展は、世界で最も話題となったイベントの1つとなった。この若いアーティストは、7年間のヘロイン中毒という内なる悪魔と戦って克服し、その苦闘の痛みは作品の感情表現に投影されている。荒涼たる都会を背景にして、華やかに着飾った子供、鮮やかな鳥や蝶を前面に配置したイメージが、ブッサーの脳裏に刻み込まれた。彼は、作品の1つ、蝶のコラージュで飾られ釘が打ち込まれた野球のバットを購入した。そこにはブッサーが求めていた楽天的な無邪気さと、何らかの闇との間の緊張感があったのである。

結果

米国への旅は、ブッサーが正しかったことを証明した。セージ・ヴォーンは即座に使命を理解し、すぐに時間と才能の提供を申し出たのだ。マキシミアン・ブッサーは、時計のための最初のスケッチを持ち帰り、忠実に仕上げた。時計の上面全体、四角いケースの表面と2つの突き出たのぞき窓は、サファイアクリスタルで製作され、HM2の複雑なエンジンを見せるようになっている。数百の精密部品がMB&Fの特徴である細部まで行き届いた手仕上げを表現している。ところが、そのエンジンは有刺鉄線で閉じ込められているのだ。青い蝶は同じ運命から逃れようともがくものの、自由は奪われている。出来上がった作品では、有刺鉄線は黒く着色されたゴールドで、蝶は青く着色されたゴールドで仕上げられているものの、その光景には、セージ・ヴォーンが最初のスケッチに赤鉛筆で縦横に有刺鉄線を描いたムーブメントのもつ感情の力すべてが表現されている。

この時計は、2006年に限定シリーズとして発表されたオロロジカル・マシンNo.2の、比類ない解釈である。HM2は、マキシミアン・ブッサー&フレンズがとっている、最高級の時計製作法への先鋭的なアプローチを象徴する。21世紀のハイテク時計であり、途方もなく高性能のマイクロメカニカルな芸術作品だ。世界初のメカニカルムーブメント（MB&Fでは「エンジン」と呼ぶ）を備え、瞬時のジャンピング・アワー、同心のレトログランド式分針、レトログランド式日付針、南北両半球ムーンフェイズおよび自動巻きを提供する。ケースだけで100を超える部品（多くの完成したムーブメントよりも部品数が多い）が使われており、時計製作史上、最も複雑だ。時計全体では、450個を超える部品が使われている。



MB&F オロロジカル・マシン N°2 セージ・ヴォーン コラボ オンリー ウォッチ 技術仕様

ムーブメント：

アジェノー社のジャン＝マルク・ヴィーダーレヒトが、ジラルール・ペルゴの振動機とギアと
レインによって調整および動力供給される機能を設計。

青みがかった 22 金ゴールドバトル・アックス自動巻きローター
28,800bph でのバランス発振

部品数： 349 (石数 44 を含む)

機能：

左の文字盤： レトログラード式日付表示および南北両半球ムーンフェイズ表示

右の文字盤： ジャンピングアワーおよび同心のレトログラード式分針

セージ・ヴォーンによる造形：

18K ゴールド製の黒い有刺鉄線がムーブメントを縛りつけ、体をむしばむ病気を表す。
ムーブメントブリッジ上に配置された 18K ゴールド製の青い蝶は、無邪気さと幼年時代の
象徴である。

ケース：

ユニークピース。ダブルドーム型サファイアガラスがついた 18K ホワイトゴールド/チタン
寸法 (リューズおよび突起部分を除く)： 59mm x 38mm x 13mm

防水 30 メートルまで (3 気圧)

サファイアクリスタル：

文字盤側 両面反射防止加工

ディスプレイ背部 セージ・ヴォーンのサイン入り

文字盤：

分・日付はつや消し加工のサファイア、時・ムーンフェイズは黒のディスク

部品数 (ムーブメントおよびケース)： 439 個

ストラップおよび留め金：

18K ゴールドをあしらった黒の手縫いのワニ革製ストラップ
カスタムデザインのチタン製デベロップメントバックル

化粧箱：

セージ・ヴォーンが描いた世界で一つだけの木製小箱

詳細についてはこちらまでお問い合わせください：

Charris Yadigaroglou (MB&F SA, Rue Verdaine 11, CH-1204 Genève, Switzerland)

Eメール: cy@mbandf.com 電話: +41 22 508 10 33

セージ・ヴォーン²について

セージ・ヴォーンは1976年オレゴン州ジャクソンに生まれ、カリフォルニア州レシーダで育つ。現在はロサンゼルスに生活と仕事の拠点を置いている。

子供の頃、ヴォーンは父である芸術家リチャード・スミッティ・ヴォーン・ジュニアのもとで、芸術の才能を育んだ。父親は彼をロサンゼルス動物園に連れていき、1日中そこで動物のスケッチをしていたものだった。ヒッピーだった彼の両親におもちゃにかけるお金はほとんどなかったが、息子が独自のアートスタイルを生み出し、成長していくよう励ました。後に、彼はグラフィティ文化へ熱心に参加するようになる。

今日、彼は絵画を好んでいるが、現在も彼の作品の中には、グラフィティ時代の都会が存在する。それは活気にあふれる前景の人物に対して、簡素な背景を形成する闇、グレーの壁、様式化された都市風景や高速道路に表れる。また、いまでも変わらぬ自由で気楽なタッチとエネルギーは、彼の作品で使用される絵の具を垂らす手法に最もよく見られる。

「私はイソップが寓話で動物を使ったのと同じように、動物を使おうとしています。」

セージ・ヴォーンの作品は、人間の状態や現代の環境での生きることの難しさを問いかける。鮮やかな鳥や昆虫は生命の確認としての存在だが、現代社会で生き残るための戦略をも思い起こさせる。一見わからないが、鳥の羽にある黒のタトゥーはギャングの名前や暗号を記したものだ。それは、気付いてもらいたいという個人の欲求を表すとともに、ストリートでの暴力や反逆への集団的良心につながるサブカルチャーをも表現している。

「子供の表情に投影することは観察者には容易なのです。」

時に、前景の鳥は子どもに置き換わる。まだ社会の型にはまっていない子どもたちには、世界を生き抜き、改革するエネルギーがあるように思える。マスクや明るい色のコスチューム姿はスーパーヒーローのようだが、彼らに楽しさや無邪気さはない。それぞれがひどく孤独で、敵意に満ちた環境に置き去りにされているのだ。

メッセージは辛いものようである。牧歌的幸福というアメリカンドリームは打ち砕かれているのだと。

しかしながら、セージ・ヴォーンは問題に暗雲を投げかけることを好み、明快に見えることもかき回す。彼の作品は、その失敗を認めて立ち止まることはない。生きるということは、もちろん難しい。それでも生きているというシンプルな事実が希望をもたらすのだと。崇拜するメルヴィルにならい、ヴォーンは、戦争中でも鳥は歌い、子どもは遊び続けることを知っているのだ。

² Jordan Tappis による「セージ・ヴォーンの紹介およびインタビュー」、ギャラリー・バーランド&グルーナー（スイス・ジュネーブ）からの情報および引用



マキシミアン・ブッサー&フレンズであること

MB&Fの創設者は、自身のノイローゼを核にしてビジネスモデルを作った。彼は一人息子で、称賛できる人物に囲まれていたいと願って成長した。しかし彼の両親（父はスイス人、母はインド人）は彼が切望する仲間を提供するには「お互いを愛しすぎて」おり、彼は一人ぼっちだったため、豊かな空想の世界を創り出したのだ。その創造力のため、家や学校で常に、分別と責任感のある人になれと躰られることになる。少年は、父親の厳しい規律と義務感を叩き込まれて成長した。

7年前の父親の死去後、彼は再び無分別になる自由を感じた。「死を意識するようになる2つの出来事があります。子供の誕生と親の死です。」父の死を機に、ブッサーは自身が理想の仕事と認めるハリー・ウィンストンの時計部門の責任者を辞め、**MB&F**（マキシミアン・ブッサー&フレンズ）を設立。**MB&F**は、才能あるプロフェッショナルとのコラボレーションによって小規模で斬新な時計のデザインと製作のみに専念する会社である。すなわち、彼の言葉によれば「私の頭の中にあるものを私の本質によって生み出されるものによって語る」ことにしたのだ。その精神は、彼のプロジェクトに協力する独立系の職人、エンジニア、時計職人ら全員に共有されている。

詳細についてはこちらまでお問い合わせください:

Charris Yadigaroglou (MB&F SA, Rue Verdaine 11, CH-1204 Genève, Switzerland)

Eメール: cy@mbandf.com 電話: +41 22 508 10 33